

在宅ワーク型メゾネット住宅

職住一体化を可能とするゆとりの住まい

改修住戸

27号棟 304号室・404号室

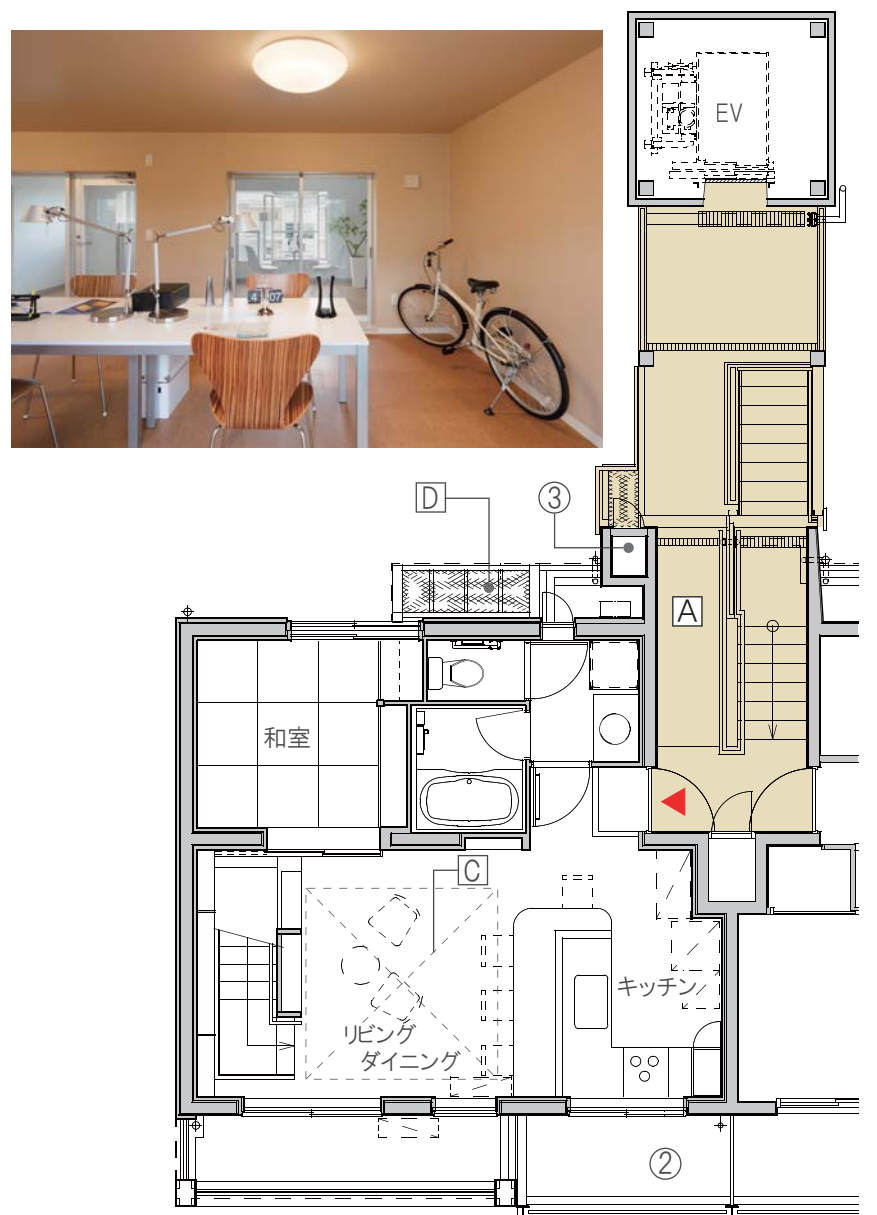
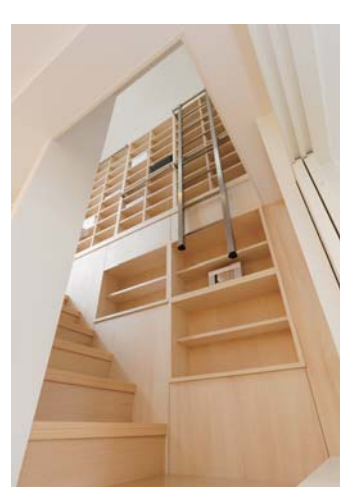
多様なニーズに応えるために既存住戸の規模を拡大する手法として、スラブ開口を設けて階段を設置するメゾネット化を行いました。眺めの良い上階は勾配屋根の設置により高い天井のあるリビングとしています。

UR都市機構では、テレワーク等に携わる方のための在宅ワーク型賃貸住宅も供給しています。アネックスタイプのワークルームには開放的なサッシを設け、フロントコートを憩いの場やギャラリーとして一体的に活用できます。ワークルームでは床遮音性能を向上させるための検証を行っています。

□住戸面積：住宅部分 約81㎡
ワークルーム部分 約25㎡

□住戸型式：5LDK

□天井高：2350、3020～3720mm / 梁下1800mm



技術検証項目

- A 階段室の改修(バリアフリー化)
- B スラブ開口の新設(メゾネット化)
- C スラブ開口・勾配屋根の新設(高天井化)
- D 共用配管の外部化(メンテナンスデッキ)
- E 床遮音性能向上(発泡ウレタン防振材+コルクタイル)

住戸企画

- ① ワークルーム(アネックス)
- ② 自立型バルコニーの新設(鉄骨造)
- ③ 既存ダストシュートを配管スペースとして活用